

市町村名	八重瀬町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	八重瀬町外国語指導強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－(3)－ア 国際感覚を身に付ける教育の推進		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(1)		
事業内容	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図り、国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、町内小中学校に英語指導助手を配置する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,404	20,582	21,963	21,963	21,777	
		(b)予算現額	16,404	21,060	21,963	21,687	22,110	
		(c)増減額(b-a)	0	478	0	▲276	333	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	16,404	21,060	21,963	21,687	22,110	
	B.執行済額		16,173	20,853	21,963	21,600	22,001	
	うち交付金充当額		12,938	16,682	27,570	17,280	17,600	
	次年度繰越額							
	執行率(％)(B/A)		98.6%	99.0%	100.0%	99.6%	99.5%	
予算の状況の説明		当初の計画通りの人員を配置することができたが、通勤手当の確定の影響により増額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	≪英語指導助手:5人配置≫ 小学校4校:3人配置し分担		目標	(3人)	(3人)	(3人)	(3人)	
			実績	3人	3人	3人	3人	
	中学校2校:2人配置		目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
			実績	2人	2人	2人	2人	
達成状況説明		・英語指導助手を5人(小学校3人配置し分担・中学校2人配置)配置した。 ・小学校では英語への興味・関心を高めるため「楽しい英語」を意識した授業に取り組んだ。 ・中学校では英語指導助手のネイティブな英語に触れ、英語力向上に繋がる授業に取り組んだ。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		77.8%	79.3%	76%	
	②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 平均以上		目標	()	(+1ポイント)	(平均以上)	(平均以上)	()
			実績		+0.85	+0.2	+2.7	
	進捗状況説明		・小学校の英語に対する興味・関心度については、76%と目標を達成することが出来なかった。今後も英語指導助手を配置したことにより「楽しい英語」の取り組みが学習意欲の向上に繋がるよう更なる工夫が必要である。 ・中学校の沖縄県学力到達度調査(英語)における県と本町の平均正答率の差は、+2.7ポイントとなり、成果目標である平均以上を上回り、更に前年度よりも上回った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・小学校における英語に対する興味・関心度に関するアンケートによる検証結果は、76%となり、目標未達成となった。 ・「英語指導助手の先生の授業は楽しいですか」のアンケート項目では「楽しい」と答えている生徒が約87%いる一方、「外国の人とお話してみたいですか」の問いでは「あまり話したくない」「話したくない」と回答した児童が約40%と、英語でのコミュニケーションに苦手意識を持った児童が多いことがわかった。 ・中学校における目標値である沖縄県達成度調査による平均正答率との差が+2.7ポイントとなり、目標を達成した。授業への興味・関心を高めるような教材作成や補習・英検対策等、通常の授業にプラスした取り組みが生徒の英語力の向上に繋がった。	・小学校では、担当教職員と英語指導助手が連携を強化し、英語に対する興味・関心を高め、英語でのコミュニケーションを苦手と感じないよう工夫した教材の研究や作成等を行い、英語に対する児童の積極性を高めるような授業を実施することが必要である。 ・中学校では、目標を達成することができ、更に前年度の結果を上回っており、今後も英語力向上へ繋がるよう、英語指導助手のスキルアップが必要である。
今後の取り組み方針		
英語に初めて接する小学生の苦手意識を減らし、英語に対して興味・関心を高めるような授業を実施することで、中学進学後の更なる英語力向上に繋がるよう、日々の教材研究や教材作成、定期的な研修会の開催等、英語指導助手の継続的なスキルアップが必要である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
22,001	22,001	17,600	4,401	0

八重瀬町
22,001千円

報酬
15,721千円

期末手当
3,233千円

共済費
2,671千円

通勤手当
376千円

英語指導助手
小学校4校 3名
中学校2校 2名

英語指導助手
小学校4校 3名
中学校2校 2名

英語指導助手
小学校4校 3名
中学校2校 2名

英語指導助手
小学校4校 3名
中学校2校 2名

資金使途の流れ、費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・配置予定人数分を町規模等に基づき計上した。不用額も発生しておらず、予算規模は概ね適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・使途については、外国語指導助手に対する報酬・期末手当・共済費・通勤手当であり、必要なものに限定されていた。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	八重瀬町ICT支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（3）－イ Society5.0に対応する教育の推進		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 （予定）年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－（1）		
事業内容	ICT環境を効果的に活用した分かりやすい授業を展開するため、小・中学校にICT支援員を配置し、児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	8,255	11,368	11,368	12,505	23,562	
		(b) 予算現額	8,255	9,020	11,110	12,375	23,265	
		(c) 増減額（b－a）	0	▲ 2,348	▲ 258	▲ 130	▲ 297	
		(d) 繰越額	－	－	－	－		
		A. 計（b+d）	8,255	9,020	11,110	12,375	23,265	
	B. 執行済額		4,039	9,020	11,110	12,375	23,265	
	うち交付金充当額		3,231	7,216	8,888	9,900	18,612	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）（B/A）		48.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算減額については、委託業務契約実績に伴う減額である。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	≪ICT支援員：3人配置≫		目 標	（ ICT支援員配置 2人 ）	（ ICT支援員配置 2人 ）	（ ICT支援員配置 2人 ）	（ ICT支援員配置 3人 ）	
	小学校4校・中学校2校：3人配置（分担）		実 績	2人	2人	2人	3人	
			目 標					
			実 績					
達成 状況 説明	当初の計画通りICT支援員を3人確保し、小学校4校・中学校2校を巡回で配置した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）	
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか（80％以上）を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目 標	（ ）	（ 80％以上 ）	（ 80％以上 ）	（ 80％以上 ）	（ ）
			実 績		96.5%	95.0%	95.5%	
	【参考指標】		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実 績					
	進 捗 状 況 説 明	児童生徒に対するアンケート検証の結果「ICT支援員（パソコンの先生）がいると、授業は分かりやすいですか？」の質問に対し、「とてもわかりやすい」「わかりやすい」と回答した児童生徒の割合が95.5%で目標を上回った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- ICT支援員を配置したことで、専門的な支援体制が図られ児童生徒や教員のICT機器の活用能力が向上したと考える。 - 児童生徒へのアンケート結果が95.5%だったことから、成果目標であるICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考える。 - ICT支援員を配置し、教員に対してICT機器の操作方法を支援することにより、積極的にICT機器を活用することができ、研修を通して教員のスキルアップへと繋がった。また、コロナウィルスの影響により児童生徒のICT機器を活用する機会も増え、そこにスキルアップした教員及びICT支援員が児童生徒を支援することで、児童生徒の満足度に繋がったと考えられる。	- 新たな機器の導入やプログラミング授業の導入など、急速に発展する情報化社会に児童生徒や教員が取り残されることがないようにサポートする必要がある。 - アンケートによる検証を行いながら児童生徒の学習ニーズを把握していく必要がある。 - 学校によって、ICT機器の活用頻度が低い学校もあるため、授業への活用方法等、ICT支援員を通して提案・サポートが必要がある。(夏休み期間を活用した教職員向けのICT研修会の開催等)
今後の取り組み方針		
- 急速に発展する情報化社会に対応できるよう、支援の内容やサポート体制を検討する。 - ICT支援員の配置を継続する事で、児童生徒や教職員のICTに対する理解度を高めていく。 - 児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解しようとする意欲が育まれるよう指導するだけでなく、情報セキュリティの知識や危険性についても指導できるよう、教職員への支援を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,265</td><td>23,265</td><td>18,612</td><td>4,653</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,265	23,265	18,612	4,653	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,265	23,265	18,612	4,653	0										
八重瀬町 23,265千円 委託料 23,265千円 株式会社 オキジム 23,265千円 ICT支援員配置: 3名 ※八重瀬町ICT支援員配置事業														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	- 委託業者は指名競争入札の業者選定をしており、妥当であったと考える。 - 不用額を出すことなく事業執行できたため適正であったと考える - 費目、使途については毎月検査を行い、目的に即し必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町学力向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（2）－ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 （予定）年度	平成25年度 ～ 令和13年度	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実			
				沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－（1）			
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導で、学力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	33,022	34,602	15,942	15,944	16,002	
		(b) 予算現額	33,022	21,060	14,258	12,414	15,215	
		(c) 増減額（b-a）	0	▲ 13,542	▲ 1,684	▲ 3,530	▲ 787	
		(d) 繰越額	—	—	—	—		
		A. 計（b+d）	33,022	21,060	14,258	12,414	15,215	
	B. 執行済額		23,538	24,657	13,508	12,790	15,215	
	うち交付金充当額		18,830	19,726	10,806	10,232	12,172	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）（B/A）		71.3%	117.1%	94.7%	103.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初から計画通りの人員を配置することができず、年度途中での配置や退職したことにより欠員期間の分を減額した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	≪学習支援員：6人配置≫		目 標	（ 小学校10人 中学校4人 ）	（ 小学校4人 中学校2人 ）	（ 小学校4人 中学校2人 ）	（ 小学校4人 中学校2人 ）	
	小学校4校：4人配置 中学校2校：2人配置		実 績	小学校8人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	
			目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実 績					
達成状況説明	小学校4人・中学校2人の計6人の配置計画に対して、年度途中からの雇用及び自己都合退職等があったが、概ね計画通りの配置ができた。							
成果目標（指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）	
	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・小学校（国語・算数） 平均以上		目 標	（ ）	（ -0.1ポイント ）	（ 平均以上 ）	（ 平均以上 ）	（ ）
			実 績		-1.45	-1.7	+0.6	
	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 ・中学校（国語・数学） +4.0ポイント以上		目 標	（ ）	（ 平均以上 ）	（ 平均以上 ）	+4.0ポイント以上	（ ）
			実 績		+8.75	+7.5	+10.2	
	進捗状況説明	・小学校における県と本町の平均正答率の差は、国語と5年生の算数は平均以上であったが、6年生の算数が県平均を下回る結果となった。トータルでは+0.6ポイントで県平均を上回っており、目標を達成することができた。 ・中学校における県と本町の平均正答率の差は、国語と2年生の数学は県平均以上であったが、1年生の数学が県平均を下回る結果となった。トータルでは+10.2ポイントで成果目標である+4.0ポイント以上を上回っており、目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・沖縄県学力到達度調査の結果から、2科目の合計では県と比較し成果目標を達成しているが、教科によっては目標に達しておらず、課題がある。 ・当初から計画通りの人員を配置することができず、1名不足していたが、その後採用し概ね計画通りの配置ができた。年度始めからの配置ができるよう、学習支援員の継続確保が課題である。	・今後も目標を達成できるよう、基礎学力の向上や授業内容の工夫・改善を担当教職員と協力し、実施していく必要がある。 ・学習支援員を対象とした研修会や意見交換会を開催し、学習支援の方法や好事例を共有することで、学習支援員のスキルアップに繋げる。 ・町ホームページ等での募集と併せ、学校側にも知人をあたってみる等、計画通りの配置に向けて積極的に努める。
今後の取り組み方針		
・学力向上のために何が必要か調査・検討し、課題について教職員・学習支援員・教育委員会が一体となって取り組む。 ・学習支援員のスキルアップに繋がる取組みについて検討を行う。 ・各小中学校の現状を把握し、現場に適した人員配置を行うため、町ホームページやSNSを活用し、募集案内の拡散に努める。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,349	15,215	12,172	3,043	134

八重瀬町
15,215千円

報酬
10,694千円

期末手当
2,508千円

共済費
1,929千円

通勤手当
84千円

学習支援員
小学校4校 4名
中学校2校 2名

学習支援員
小学校4校 4名
中学校2校 2名

学習支援員
小学校4校 4名
中学校2校 2名

学習支援員
小学校4校 4名
中学校2校 2名

遡及分報酬(交付対象外経費)
134千円

資金使途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、年度途中の配置により減額したが、概ね計画通りの配置ができたため、適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・使途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町特別支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ 個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	62,605	60,731	34,792	43,225	38,454
		(b)予算現額	62,605	49,079	37,359	42,987	36,837
		(c)増減額(b-a)	0	▲11,652	2,567	▲238	▲1,617
		(d)繰越額	—	—	—	—	
		A.計(b+d)	62,605	49,079	37,359	42,987	36,837
	B.執行済額		39,108	47,166	36,539	38,999	36,837
	うち交付金充当額		31,286	37,733	29,231	31,199	29,469
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		62.5%	96.1%	97.8%	90.7%	100.0%
予算の状況の説明		当初から計画通りの人員を配置することができず、年度途中で配置したことにより欠員期間の分を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	特別支援員:18人配置 小学校4校:15人配置 中学校2校:3人配置	目標	(幼稚園14人 小学校12人 中学校4人)	(幼稚園9人 小学校8人 中学校2人)	(幼稚園8人 小学校11人 中学校1人)	(小学校15人 中学校3人)	
		実績	幼稚園11人 小学校10人 中学校2人	幼稚園9人 小学校8人 中学校2人	幼稚園7人 小学校13人 中学校1人	小学校15人 中学校3人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	小学校15人、中学校3人の計18人の配置計画に対して、年度途中からの雇用及び自己都合退職等があったが、概ね計画通りの配置ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、「特別支援員の対応に満足したか(80%以上)」を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		83.3%	81.7%	81.1%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	保護者に対するアンケート検証において「特別支援員さんの対応に満足していますか?」の質問に対し、「とても満足している」「満足している」と回答した保護者の割合が81.1%で目標を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・多様化する教育的支援のニーズに対して適切な支援を行えるよう、特別支援員としてのスキルがより求められるようになってきている。 ・対象となる児童が増加する中、配置計画に対し年度途中からの支援員配置や退職等により、安定的な人員確保ができない事がアンケートで「満足していない」と回答した保護者の要因にも繋がっていると考えられる。	・支援の必要な児童生徒への適切な支援を行えるよう、研修会等を通して特別支援員の更なるスキルアップを図る必要がある。 ・配置計画通りの人員を確保するために、継続的に町のホームページやSNSで発信する他、学校側にも知り合い等に人材がいらないか声掛けを行う。 ・対象児童への支援を通して気になることがあれば、積極的に担当教職員へ報告し、必要があれば教員から保護者へ情報の連携を図ることで、より充実した児童のサポートができるよう取り組む。
今後の取り組み方針		
・特別支援員のスキルアップに繋がる取組みについて検討を行う。 ・学校現場や特別支援の申込み状況等、関係各所より早めに情報提供を受け、必要となる人員の確保に務めるとともに、児童生徒の状態に応じたきめ細かい支援が行えるよう取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36,915</td><td>36,837</td><td>29,469</td><td>7,368</td><td>78</td></tr> </tbody> </table> 八重瀬町 36,837千円 遡及分報酬(交付対象外経費) 78千円 報酬 25,532千円 特別支援員 小学校4校 15名 中学校2校 3名 (うち、1名は途中退職) 期末手当 6,201千円 特別支援員 小学校4校 15名 中学校2校 3名 (うち、1名は途中退職) 共済費 4,642千円 特別支援員 小学校4校 15名 中学校2校 3名 (うち、1名は途中退職) 通勤手当 462千円 特別支援員 小学校4校 15名 中学校2校 3名 (うち、1名は途中退職)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	36,915	36,837	29,469	7,368	78
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
36,915	36,837	29,469	7,368	78										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。 ・予算規模については、年度途中の配置や退職により減額したが、学校規模に応じた配置を行っており適正である。 ・費用・使途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤ 八重瀬町ICT教育強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		4-5-(3)-イ 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり			
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施 （予定）年度	平成26年度 ～ 令和6年度		沖縄振興基本方針 該当箇所			
事業内容	GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し、主体的な学びの意欲向上及び更なる学力向上を目指す。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	6,044	63,037	93,001	31,030	38,624	
		(b) 予算現額	5,811	56,601	48,950	29,568	37,684	
		(c) 増減額（b-a）	▲ 233	▲ 6,436	▲ 44,051	▲ 1,462	▲ 940	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計（b+d）	5,811	56,601	48,950	29,568	37,684	
	B. 執行済額		5,810	56,601	48,950	29,568	37,684	
	うち交付金充当額		448	45,280	39,160	23,654	30,147	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）（B/A）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算については、適宜計画の変更を行い執行率100%となった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ICT機器の整備		目 標	（ 6台 ）	（ 60台 ）	（ 33台 ）	（ 各40台 ）	
	電子黒板（40台） 電子黒板用パソコン（40台）		実 績	6台	60台	33台	各40台	
	学習用端末		目 標	（ 1,064台 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
			実 績	1,064台				
達成状況説明	・当初計画通り、小学校4校に対し電子黒板及び電子黒板用PCを30台、中学校2校に対し10台を設置することができた。 （東風平小学校11台・白川小学校7台・具志頭小学校7台・新城小学校5台・東風平中学校6台・具志頭中学校4台）							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）	
	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。		目 標	（ ）	（ 80% ）	（ 80% ）	（ 80% ）	（ ）
			実 績		92%	93%	94%	
			目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実 績					
	進捗状況説明	・電子黒板未整備の中学校への電子黒板の整備を行うことができた。 ・校内ネットワークとの接続が可能な電子黒板を小学校3～4年の教室へ整備する事ができた。（100%） ・児童生徒に対するアンケート検証を実施したところ、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合は94%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・児童生徒数の増加に伴い、学級数が増加している学校があるため、引き続き電子黒板の整備が必要となっている。 ・小学校に設置している電子黒板について、一部の機器は校内ネットワークとの接続に対応していないため、校内ネットワークと接続可能な電子黒板の整備を進める必要がある	・電子黒板の整備に向けて、学級の増設状況を把握し、機器の導入見込数を適宜把握する必要がある。 ・引き続き児童生徒へアンケートを行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を継続する必要がある。
今後の取り組み方針		
・町内小中学校のICT機器設置状況や児童生徒数に応じた導入を計画し、主体的な学びの意欲向上、学力向上を支援していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37,684</td><td>37,684</td><td>30,147</td><td>7,537</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費	37,684	37,684	30,147	7,537	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費										
37,684	37,684	30,147	7,537	0										
八重瀬町 37,684千円 備品購入費 37,684千円 株式会社オキジム 37,684千円 〔電子黒板等購入〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、事前見積、過去の購入実績等を参考に積算しており、購入台数も含めて適切な規模と考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途について、電子黒板の導入にあたり、必要なものに限定されている。											

市町村名	八重瀬町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	八重瀬町学力調査等事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-5-(2)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実			
					Ⅲ-3-(1)			
事業内容	生徒の学力や学習状況を把握し課題の明確化を図り、生徒の更なる学力向上に繋げるために学力調査等を実施。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,462					
		(b)予算現額	2,447					
		(c)増減額(b-a)	▲15					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	2,447					
	B.執行済額		2,360					
	うち交付金充当額		1,888					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		96.4%					
予算の状況の説明		計画どおりに町内中学校(2校)において、学力調査を実施し、適正な予算執行を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	共通テストの実施 中学1年生～3年生 (国語・数学・英語・理科・社会)	目 標	(中学校2校)	()	()	()	()	
		実 績	中学校2校					
	中学3年生学力調査の実施 (国語・数学・英語・理科・社会)	目 標	(中学校2校)	()	()	()	()	
		実 績	中学校2校					
達成 状 況 説 明	共通テスト、中学3年生学力調査を町内中学校2校で計画どおり実施することが出来た。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	沖縄県学力到達度調査における県と本町との 平均正答率の差 ・共通テスト(中学1年～3年) (国語・数学・英語・理科・社会)	目 標	()	(+3ポイント以上)	()	()	()	
		実 績		+10ポイント				
	県内実施市町村の平均と本町との平均正答 率の差 ・中学3年生学力調査 (国語・数学・英語・理科・社会)	目 標	()	(+3ポイント以上)	()	()	()	
		実 績		+1ポイント				
	進 捗 状 況 説 明	沖縄県学力到達度調査における県と本町の平均正答率は目標値を上回ったが、中学3年生学力調査においては目標を達成出来なかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・目標をほぼ達成できたが、国語、数学などは説明文の正答率が低い傾向にあるのが課題。	・問題文の中で問われている部分をしっかり理解できるように、読解力を意識した授業を行うなどの工夫に努める。
今後の取り組み方針		
・全部の教科において、文章の要点や概要を読み取れる力を身につけられるよう取り組む。 ・問題の意図する部分や解答条件となる部分マーカーするなど、条件にあった解答が出来るよう授業の中でも学習習慣を身に付けられるよう授業改善を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,360	2,360	1,880	480	0

八重瀬町
2,360千円

委託料
1,786千円

株式会社学秀館
1,786千円

八重瀬町中学校共通テストにかかる委託業務

委託料
574千円

学悠出版株式会社
574千円

八重瀬町中学3年生学力調査にかかる委託業務

資金の流れ、 点検評価・費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、県内市町村の多くが採用し、実績もあることで学力等の比較検討が出来ることから入札に適さず随意契約としており、妥当であるとする。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途については、学力調査委託料として目的に即し必要なもので適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進		
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成27年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	トップアスリートから指導を直接受けることにより、八重瀬町民のスポーツレベルアップを高める。 全国のチームや県外選手との交流、試合(派遣助成)をすることで児童生徒のスポーツへの意識を高める。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,879	4,879	1,875	2,980	4,180
		(b)予算現額	4,879	1,279	1,875	3,721	4,920
		(c)増減額(b-a)	0	▲3,600	0	741	740
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	4,879	1,279	1,875	3,721	4,920
	B.執行済額		3,199	957	2,464	3,721	5,427
	うち交付金充当額		2,559	765	1,971	2,977	4,341
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		65.6%	74.8%	131.4%	100.0%	110.3%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症による渡航規制等の解除により、令和4年度以降児童生徒県外派遣の申請件数が増加したことから、派遣費が増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	スポーツクリニックの開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	開催	開催	開催	開催	
	児童生徒の県外派遣費の助成	目標	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	
		実績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
達成状況説明	①スポーツクリニック ・バドミントンクリニックを小中学生を対象に1月に開催した。 ・ソフトテニスクリニックを小中学生を対象に2月に開催した。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・派遣費の助成は前年度を上回る92件の申請があった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、「児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか」(80%以上)を含め、当該事業のあり方について、アンケートにより検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		89%	93%	96%	
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		97%	100%	100%	
	進捗状況説明	①スポーツクリニックの開催 ・スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートの結果、スポーツへの意識が高まったとの回答がバドミントンが96%(60名/62名)、ソフトテニス96%(62名/64名)、全体(122名/126名)で96.8%となり、目標を達成した。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・派遣された児童生徒の保護者へのアンケートの結果、県外大会に派遣されることにより広い視野を持つことができたとの回答が100%(224名/224名)となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①スポーツクリニックの講師としてトップアスリートの派遣を各競技毎に1名依頼しているが、参加者が60名前後と多い事に加え、子供たちの学年や競技レベルに差があることから、全体に合わせたメニュー作りが難しくなっている。 ②県予選にて優勝したチーム以外の好成績を残したチームを対象に、県外で行われる親善大会等のカテゴリーが増えたことに伴い、申請件数が増加している。	①スポーツクリニックについて、低学年・初心者を対象としたクラスと高学年・上級者を対象としたクラスで分け、競技レベルに合わせた指導を行いやすくする。 ②県外派遣助成金について、申請件数の増加に注意しつつ予算執行状況の把握に努め、必要に応じて変更申請を検討する。
今後の取り組み方針		
・スポーツクリニックを開催する際に講師となるトップアスリートを2名以上派遣してもらい競技レベルに応じたメニュー作りを検討する。 ・県外派遣助成金について、県予選で優勝したチーム以外の好成績を残したチームを招待し開催する親善大会等のカテゴリーが増えている。申請件数が増加するなかで助成対象となる県外派遣かを精査しクリーンな執行に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>5,427</td><td>5,427</td><td>4,341</td><td>1,086</td><td>0</td></tr></table>				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,427	5,427	4,341	1,086	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
5,427	5,427	4,341	1,086	0											
八重瀬町 5,427千円		需用費 51千円 〔 消耗品費 (横断幕・その他) 〕 委託料 792千円 → 美津濃株式会社 792千円 〔 バドミントンクリニック ソフトテニスクリニック 〕 備品購入費 482千円 → ポータブルアンプ 482千円 〔 ポータブルアンプ一式 〕 補助金 4,102千円 → 町内各種団体及び個人 4,102千円 〔 児童生徒県外派遣助成金92件 〕													

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託については、児童と直に接する人材の派遣を依頼することから、安全性を考慮し過去のアンケートや実績から選定して契約しているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額については、県外派遣助成において申請件数の増加により変更申請の必要性が生じる場合もあるが、大きな変更はなく規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については受益者である町内各種団体及び個人に航空費の5割を負担しており妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は委託料及び事業執行の為の消耗品費であり、必要経費と考える。

市町村名	八重瀬町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑧		八重瀬町国際交流人材育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－(3)－(ア)		
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 （予定）年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	国際的視野を広め、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	8,251					9,780
		(b) 予算現額	8,251					12,292
		(c) 増減額 (b-a)	0					2,512
		(d) 繰越額	0					0
		A. 計 (b+d)	8,251					12,292
	B. 執行済額		7,900				11,607	
	うち交付金充当額		6,319				9,285	
	次年度繰越額		0				0	
	執行率（％）(B/A)		95.7%				94.4%	
予算の状況の説明		当初計画の見積書取得時より航空運賃等の値上がりの為、補助金を2,512千円増額した。5.6%の不用額は、実績によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・海外短期派遣生徒数 12人	目 標	()	()	()	()	(12人)	
		実 績					12人	
		目 標	()	()	()	()	()	
実 績								
達成 状況 説明	令和5年度は32名の応募があり、記述試験、集団適正試験、面接（英語）を実施し12名を選考。12回（35時間）の事前研修で、プレゼンテーション資料作成や現地の文化学習、日常生活における英会話学習を実施。本研修では、公立及び私立の中学校へ訪問し、1日の授業をととした交流や平和学習、文化体験やホームステイを実施した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （R6年度）
	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の国際的な視野が広がった」の回答率100%	目 標	()	()	()	(100%)	(100%)	
		実 績				100%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進 捗 状況 説明	・国際的視野が広がったと思いますか？（とても思う：100%） ・事業に参加したことで将来に良い影響を与えたと思いますか？（とても思う：100%） ・事業参加後に物事に積極的にチャレンジするようになったと思いますか？（とても思う：50%、思う：50） 国際的な視野が広がった（100%）と回答があり、成果目標値は達成できた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・全研修を通して成果目標へ向けた取り組みを行うことができた。 ・事前研修においては、「失敗を恐れず挑戦する」をテーマにプログラムを実施した。英会話研修において、当初は「間違えているかも」という感情で、積極的に会話することが出来なかったが、研修を重ねるにつれ積極的に会話する事ができ、本研修へ活かす事ができた。 ・本研修では、現地学校での交流やホームステイをとおして国際的な体験をすることで新しい価値観に触れ国際社会への理解を深める事ができた。	・事業の目的や効果を参加者及び保護者へ更に理解して頂き、現地研修内容の更なる充実を図る。
今後の取り組み方針		
・成果目標を達成できたが、研修内容を更に充実させるため、現地学校担当者と協議し、より良い研修内容を作成していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>12,881</td><td>11,607</td><td>9,285</td><td>2,322</td><td>1,274</td></tr></table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,881	11,607	9,285	2,322	1,274	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,881	11,607	9,285	2,322	1,274										
八重瀬町 11,607 千円 補助金 11,607 千円 八重瀬町青少年交流会 11,607 千円 ほか、参加者負担分(交付対象外経費) 1,274千円 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料														

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、「国際交流事業」を実施する八重瀬町青少年国際交流会への補助金交付選定は妥当だと考える。 ○事業に係る経費は見積書に基づき積算されており、適正な規模であると考え。 ○参加者負担額は実施要項へ定められており、妥当と考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑨	八重瀬町少年少女人材育成交流事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（2）－（ア）		
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成26年度 ～ 令和13年度	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	教育機会の拡充			
事業内容	Ⅲ－3－（1）							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,380					7,205
		(b) 予算現額	7,380					7,205
		(c) 増減額 (b-a)	0	新型コロナウイルスの影響で事業中止				0
		(d) 繰越額	0					0
		A. 計 (b+d)	7,380					7,205
	B. 執行済額		6,493					4,777
	うち交付金充当額		5,194					3,821
	次年度繰越額		0					0
	執行率（％）(B/A)		88.0%					66.3%
予算の状況の説明		本事業を実施する八重瀬町交流会へ補助金を交付した。当初冬に42名の児童生徒を予定していたが、参加者申込減の為、旅行業務委託料に大幅に不用額が生じている。参加申込減の理由として、当初参加対象としていた、各字自治会代表生徒、町ジュニアリーダーから申込者がいなかった。						
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(夏)児童生徒交流者数 12人	目 標	()	()	()	()	(12人)	
		実 績					12人	
	(冬)児童生徒交流者数 42人	目 標	()	()	()	()	(42人)	
		実 績					23人	
達成状況説明	・8月23日から25日までの期間(夏)において、高知県香南市の児童を受入、町内児童12名が交流を行った。 ・1月29日から2月1日までの期間(冬)において、町内児童生徒23人が山形県米沢市へ派遣され交流を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（6年度）	
	保護者へのアンケート実施。「児童生徒の視野が広がった」の回答率100%	目 標	()	()	()	(100%)	(100%)	
		実 績				97%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	児童生徒の視野が広がったと（とても思う、思うが97%）と回答。成果目標値は、達成できなかった。 ・事業に参加して視野が広がったと思いますか？（とても思う：72%、思う25%、変わらない3%） ・事業に参加したことで良い影響を与えたと思いますか？（とても思う：63%、思う34%、変わらない3%） ・今後もこのような交流事業へお子様を参加させたいと思いますか？（思う：100%）						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・冬季研修の参加者募集時に当初予定していた人数の参加申込がなかった。対象としていた各字自治会子ども会、町ジュニアリーダーの活動の衰退が原因と考えられる。また、28名の参加申込があったが、前日までに5名がインフルエンザ罹患により本研修に参加できなかった。 ・全研修を通して成果目標へ向けた取り組みを行うことができた。しかし、学校訪問等の現地児童交流が少なかった事が原因なのか、「変わらない」との回答が1件あった。	・保護者アンケート「児童生徒の視野が広まった」の回答率100%を達成する為、「変わらない」と回答した保護者へ聞き取り調査実施予定。原因を解明し研修内容に不備があれば修正する。 ・冬季研修の参加者人数については、R5年度は活動目標人数を達成できなかったが、事業実施後に引率者で検証した結果、今回の参加人数が今後の交流人数として適当と判断したため、R6年度活動目標人数を修正する。
今後の取り組み方針		
・成果目標を達成できなかったが、本研修内容を更に充実させるため、現地学校担当者と協議しより良い研修内容を作成していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,832</td><td>4,777</td><td>3,821</td><td>956</td><td>1,055</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,832	4,777	3,821	956	1,055
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,832	4,777	3,821	956	1,055										
八重瀬町 4,777 千円 補助金 4,777 千円 八重瀬町交流会 4,777 千円 ほか、参加者負担分(交付対象外経費) 1,055千円 報償費 旅費 需用費 役務費 委託料														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○少年少女の人材育成を図るため、「交流事業」を実施する八重瀬町交流会への補助金交付選定は妥当だと考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○事業に係る経費は見積書に基づき積算されており、適正な規模であると考ええる。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○参加者負担額は実施要項へ定められており、妥当と考える。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	八重瀬町イベント事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	Ⅲ-1-(1)						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,071	0	3,500	4,500	10,100
		(b)予算現額	4,071	0	3,500	8,000	13,100
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	3,500	3,000
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	4,071	0	3,500	8,000	13,100
	B.執行済額		3,808	0	3,500	7,195	10,947
	うち交付金充当額		3,046	0	2,800	5,756	8,757
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.5%	0.0%	100.0%	89.9%	83.6%
予算の状況の説明		イベントにおける感染症対策の要件が緩和されたことから更なる観光客誘客を図るため、八重瀬町青年エイサー祭りの内容に当初予定していなかった打上花火を追加したことで、来場者の増加に伴うゴミ集積の人件費等による増額があった。桜まつりに関しては人件費と予備費で不用額が生じている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	やえせ桜まつりの補助	目標	(—)	(7,400人)	(7,400人)	(補助)	
		実績	—	12,376人	25,400人	(実施)	
	八重瀬町青年エイサーまつりの補助	目標	()	()	()	(補助)	
		実績				(実施)	
達成状況説明	やえせ桜まつり及び八重瀬町青年エイサー祭りへの補助を計画通り実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R4年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	やえせ桜まつり来場者数 7,400人以上	目標	(7,400)	(7,400)	(7,400)	(7,400)	()
		実績		12,300	25,400	23,600	
	八重瀬町青年エイサー祭り来場者数 来場者13,000人以上	目標	()	()	()	(13,000)	()
		実績				6,500	
	進捗状況説明	【やえせ桜まつり】令和5年度より見どころを桜だけでなく、ふれあい動物園を追加するとともにスタンプラリーを行い、老若男女問わず楽しめるよう工夫したことに加え、警備員を増員したことにより、成果目標を達成したが、来場者数は前年度から伸びなかった。 【八重瀬町青年エイサー祭り】3年ぶりの開催だったが、広報不足と悪天候により成果目標に達しなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【やえせ桜まつり】 ・トイレが和式のため、使えない方が多く洋式トイレが渋滞していた。 ・会場までの乗り入れの混雑。 【青年エイサーまつり】 ・令和5年11月12日(日) 17時開始、曇り雨 成果目標へ向けた取り組みを行うことができたが、目標未達の要因となった開催時期、時間を検討し更なる集客を図る。	【やえせ桜まつり】 ・洋式トイレへの改修 ・近隣施設の駐車場用地を借用してシャトルバスの活用や混雑回避のため国道からの入口を分散させる。 【青年エイサーまつり】 ・10月の連休中に開催し、県外・海外からの誘客を図る。SNSを活用した情報発信の強化を図る。
今後の取り組み方針		
○スタンプラリー等を活用し、イベントの来場者の町内の滞在時間・消費額の増加を図る。 ○開催内容などの事前協議をより早期から実施する。 ○十分な自主財源を確保し、継続可能な体制の構築。 ○開催時間帯を従来の時間帯へ戻し、多くの来場者への周知を図る。 ○近隣市町村の青年団体への出演依頼の声掛けを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,947	10,947	8,757	2,190	0

八重瀬町
イベント事業
10,946千円

補助金
4,430千円

(一社)八重瀬町観光
物産協会
4,430千円

委託料
1,100千円

(株)エムズ
1,100千円

八重瀬町青年エイサー
祭り運営補助金
5,417千円

八重瀬町青年エイサー
祭り実行委員会
5,417千円

八重瀬町イベント事業
やえせ桜まつり事業に係
る経費の補助

八重瀬町公園駐車場養生
委託業務に係る経費

八重瀬町青年エイサー祭
りに係る経費の補助

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は指名競争入札にて選定しており、補助金は八重瀬町イベント事業補助金交付規則を根拠に本町と連携して観光振興を図っている団体であり、選定は妥当である。 ○不用額が5%以上生じたため予算額・事業の適切な執行管理が必要である。 ○運営資金の不足分を補助しているので、受益者との負担関係は妥当である。 ○費目、使途については実績報告で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 八重瀬町観光地美化作業事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-1-(1)-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進		
担当部課名	経済建設部 都市整備課・土木建設課 教育委員会 スポーツ振興課・生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	54,457	57,401	54,475	101,112	81,877
		(b)予算現額	48,057	48,338	52,407	102,201	81,877
		(c)増減額(b-a)	▲6,400	▲9,063	▲2,068	1,089	0
		(d)繰越額					0
		A.計(b+d)	48,057	48,338	52,407	102,201	81,877
	B.執行済額		46,178	47,991	48,940	95,119	81,872
	うち交付金充当額		36,942	38,392	39,152	76,095	65,498
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.1%	99.3%	93.4%	93.1%	99.9%
予算の状況の説明		予算については会計年度任用職員の勤務実績などによる報酬の残額を含め、燃料費などを合わせて5千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:45路線	目標	(美化作業の実施)	(13箇所45路線)	(13箇所45路線)	(13箇所45路線)	
		実績	美化作業の実施	13箇所45路線	13箇所45路線	13箇所45路線	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	観光地や施設及びアクセス道路の草木の伐採等による景観美化作業を計画どおりに実施する事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		93%	95%	95%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるとの回答結果が95%となり、目標を達成した。 ・優先順位や必要性の高い場所の選定を行いながら定期的に景観美化作業を行うことができた結果、安心安全な観光客の受入体制の整備を行うことができたと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・梅雨や台風等の気象条件の影響による作業効率の低下や、草木の成長が著しい夏場において、美化作業の遅れが生じることがある。 ・気温が上昇する夏場には作業員の体調面の負担が大きく、作業効率維持の課題となっている。 ・沿線道路での作業が多いため、飛石や車両事故へ十分配慮する必要がある。	・気象条件の影響や作業員の体調面の負担を減らすため、計画的な作業実施や、除草剤の活用を検討する。 ・作業効率向上を図るために、前年度購入した備品以外の新規備品の購入を検討する。 ・作業現場周辺を十分に確認し、危険を及ぼさような安全な作業を徹底する。
今後の取り組み方針		
・気象条件や繁忙期等を勘案した作業実施の計画を行い、観光地としての通年での美化を目指す。 ・除草剤を活用するなど、美化作業員の作業効率向上に係る取組を推進する。 ・計画的な作業機械の更新を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
八重瀬町 81,872千円	報酬 43, 845千円	〔 美化作業員報酬 〕		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>81,872</td><td>81,872</td><td>65,498</td><td>16,374</td><td>0</td></tr></table>	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	81,872	81,872	65,498	16,374	0
	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費								
	81,872	81,872	65,498	16,374	0									
	期末手当 8, 953千円	〔 美化作業員期末手当 〕												
	共済費 6, 238千円	〔 美化作業員共済費 〕												
	旅費 459千円	費用弁償 459千円	〔 美化作業員費用弁償 (16名分) ※対象者のみ 〕	<table><tr><td>消耗品費 1,497千円</td><td>〔 草刈刃、軍手、 ゴミ袋他 〕</td></tr><tr><td>燃料費 3, 135千円</td><td>〔 作業用機械、 作業用車両 〕</td></tr><tr><td>修繕費 1,173千円</td><td>〔 作業用機械修繕 〕</td></tr></table>	消耗品費 1,497千円	〔 草刈刃、軍手、 ゴミ袋他 〕	燃料費 3, 135千円	〔 作業用機械、 作業用車両 〕	修繕費 1,173千円	〔 作業用機械修繕 〕				
	消耗品費 1,497千円	〔 草刈刃、軍手、 ゴミ袋他 〕												
	燃料費 3, 135千円	〔 作業用機械、 作業用車両 〕												
	修繕費 1,173千円	〔 作業用機械修繕 〕												
	需用費 5, 805千円													
役務費 3,373千円	廃棄物処理料 3, 373千円	〔 廃棄物処理費 (草木処分) 〕												
委託料 13, 199千円	八重瀬町シルバー人材センター 7, 174千円		〔 美化清掃業務委託 (除草作業、美化清 掃) 〕											
	沖縄環境株式会社 1,155千円													
	公民連携沖縄株式会社 3,201千円													
		曙開発 1,669千円	〔 高木伐採業務委託・ 草木運搬業務委託 〕											

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号及び7号の規定により選考を行い、また直接雇用の作業員については町の雇用促進の観点から公募、面接を行い採用しており妥当であると考え。 ○予算規模については、見積もり及び町条例に基づき算出しており事業に必要な予算規模であると考え。 ○費目、使途が事業目的達成の観点から必要なもののなか等について、支出等に関する書類において確認を適正であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③		運動公園施設等整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(9)－ア	
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課		事業実施 （予定）年度	平成24年度 ～ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ－1－(1)	
事業内容	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。令和5年度においては、野球場の防球ネット機能強化整備や東風平サッカー場の芝生管理業務、東風平野球場の肥料及び資材の購入を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a) 当初予算額	82,155	61,949	15,334	15,334	78,247
		(b) 予算現額	114,231	15,994	15,334	15,334	78,247
		(c) 増減額（b－a）	32,076	▲ 45,955	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計（b+d）	114,231	15,994	15,334	15,334	78,247
	B. 執行済額		112,780	15,895	15,316	15,313	78,241
	うち交付金充当額		90,224	12,716	12,253	12,250	62,592
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率（％）（B/A）		98.7%	99.4%	99.9%	99.9%	99.9%
予算の状況の説明		・東風平サッカー場においては、芝生管理委託について予定通り執行することができた。 ・東風平野球場においては、防球ネット機能強化整備について予定通り執行することができた。 ・東風平野球場においては、芝生管理に必要な肥料及び資材の購入について予定通り執行することができた。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	サッカー場プロ仕様芝生整備	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	運動公園整備工事及び芝生用肥料及び資材等の購入、資材単価調査、管理用機械の修繕	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	・東風平サッカー場においては、通年で芝生管理を行うことで夏場、冬場と一年を通して良好な状態で芝生を維持することができ、Jリーグサッカーキャンプ誘致や県外サッカー大会誘致も行うことができた。 ・東風平野球場においては、プロ野球チームのキャンプに間に合わせ防球ネット機能強化整備することによりプロ選手の飛距離ある打球に対応することができた。また、芝生用肥料及び資材購入により芝生環境の整備を行うことで、野球キャンプの受入れ環境の向上を図ることができた。 ・防球ネット機能強化整備工事のコンクリート支柱においては、単価の特別調査を実施し適切な単価で発注することができた。 ・運動公園施設整備で使用している管理機械の修繕を行い、年間通して芝生が良好に管理することができた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）
	野球キャンプの受入れ（4件以上）	目 標	（ ）	（ 5件以上 ）	（ 4件以上 ）	（ 4件以上 ）	（ ）
		実 績		5件	6件	4件	
	サッカーキャンプの受入れ（4件以上）	目 標	（ ）	（ 4件以上 ）	（ 4件以上 ）	（ 4件以上 ）	（ ）
		実 績		4件	5件	5件	
	進捗状況説明	【野球キャンプ】 海外プロ野球チーム1件、県外中学生野球大会2件、日本プロ野球選手（海外プロ野球選手）における自主トレ1件の受入れ実績となった。 ※海外プロチームと日本プロ野球チームによる練習試合（1試合） 【サッカーキャンプ】 Jリーグチーム2件、県外シニア大会1件、県外高校大会1件、Jプロサッカー選手複数人による自主トレ1件の受入れ実績となった。 ※Jリーグチームによるトレーニングマッチ（3試合）					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①サッカー場芝生管理 ・一年を通し芝生管理を行ってきたため、通年で芝生の状態がよく、いつでも県外大会やJリーグキャンプを受入れることができた。 ②野球場防球ネット機能強化整備 ・プロ野球選手の飛距離ある打球に対応することができ、幅広い練習ができることとなり、選手やチームも喜んでいた。 ③野球キャンプ 芝生管理に必要な肥料及び資材を購入し、施設の機能強化を図ったことから、通年で球場の状態がよく、いつでも県外大会を誘致することができた。	①状態の良い芝生環境、芝生土壌の硬さや芝生の発育状況を継続できるように引き続き芝生管理を行う。 ②プロ野球キャンプ、選手の幅広い練習ができるようにヒアリングしていくことと、既存施設を生かしながら機能強化を図る。また、断続して施設環境を整えたい。
今後の取り組み方針		
①サッカーキャンプ 一年を通して芝生管理を行うことで、芝生環境を整え施設の機能強化を図りたい。 ②野球キャンプ 既存施設を生かしながらのさらなる機能強化を図りたい。 誘致件数の増加を図るため、町観光物産協会や旅行会社と連携して八重瀬町への観光の誘客につなげたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																					
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>78,241</td><td>78,241</td><td>62,592</td><td>15,649</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	78,241	78,241	62,592	15,649	0							
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																	
78,241	78,241	62,592	15,649	0																	
<table> <tr> <td rowspan="4">八重瀬町 78,241千円</td><td>需用費 1,287千円</td><td>(有)曙開発 495千円 東洋グリーン (株) 沖縄営業所 108千円 ゴルフ場用品(株) 573千円 (株)イーエス・ウォーターネット</td><td colspan="2">芝生用肥料の購入 芝生用農薬の購入 芝生用機械の修繕 芝生用散水スプリンクラーの修繕</td></tr> <tr> <td>委託料 14,300千円</td><td>東洋グリーン (株) 沖縄営業所</td><td colspan="2">東風平サッカー場芝生管理委託</td></tr> <tr> <td>工事請負費 62,337千円</td><td>(株)三大土木産業 61,754千円 (有) 曙開発</td><td colspan="2">野球場防球ネット機能強化整備 キャンプ前グラウンド整備</td></tr> <tr> <td>原材料費 317千円</td><td>(有) 曙開発 317千円</td><td colspan="2">芝生用資材の購入 (芝生用目砂・赤土)</td></tr> </table>					八重瀬町 78,241千円	需用費 1,287千円	(有)曙開発 495千円 東洋グリーン (株) 沖縄営業所 108千円 ゴルフ場用品(株) 573千円 (株)イーエス・ウォーターネット	芝生用肥料の購入 芝生用農薬の購入 芝生用機械の修繕 芝生用散水スプリンクラーの修繕		委託料 14,300千円	東洋グリーン (株) 沖縄営業所	東風平サッカー場芝生管理委託		工事請負費 62,337千円	(株)三大土木産業 61,754千円 (有) 曙開発	野球場防球ネット機能強化整備 キャンプ前グラウンド整備		原材料費 317千円	(有) 曙開発 317千円	芝生用資材の購入 (芝生用目砂・赤土)	
八重瀬町 78,241千円	需用費 1,287千円	(有)曙開発 495千円 東洋グリーン (株) 沖縄営業所 108千円 ゴルフ場用品(株) 573千円 (株)イーエス・ウォーターネット	芝生用肥料の購入 芝生用農薬の購入 芝生用機械の修繕 芝生用散水スプリンクラーの修繕																		
	委託料 14,300千円	東洋グリーン (株) 沖縄営業所	東風平サッカー場芝生管理委託																		
	工事請負費 62,337千円	(株)三大土木産業 61,754千円 (有) 曙開発	野球場防球ネット機能強化整備 キャンプ前グラウンド整備																		
	原材料費 317千円	(有) 曙開発 317千円	芝生用資材の購入 (芝生用目砂・赤土)																		
資金の流 使途の点 検・費目 ・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明																		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○東風平サッカー場芝生管理委託は本町仕様内容に満たすことができる業者が限定されることから、入札に適さず随意契約しており妥当。(地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく)																		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○東風平野球場機能強化工事は国土交通省の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。																		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。																		

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	八重瀬町観光プロモーション事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	町内への観光誘客のため観光プロモーションの管理業務支援員(2名)を配置し、観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額	20,617	6,178	6,192	6,228	7,762
		(b)予算現額	8,413	5,508	5,071	5,084	7,762
		(c)増減額(b-a)	▲12,204	▲670	▲1,121	▲1,144	0
		(d)繰越額	0	0	0		
		A.計(b+d)	8,413	5,508	5,071	5,084	7,762
	B.執行済額		6,107	5,421	5,016	4,422	6,582
	うち交付金充当額		4,884	4,884	4,012	3,538	5,265
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		72.6%	98.4%	98.9%	87.0%	84.8%
予算の状況の説明		当初の人件費を過大に計上していたため、不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	プロモーションの企画提案実施 6回以上	目標	(6回)	(6回)	(6回)	(6回)	
		実績	17回	14回	16回	23回	
	SNS等による八重瀬町観光情報の発信 100回以上	目標	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)	
		実績	618回	798回	627回	790回	
達成状況説明	・八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」を活用したプロモーションや、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」への誘客イベント等、支援員が企画提案・運営管理する観光プロモーションを23回実施した。 ・昨年度に引き続きSNSを活用した情報発信を強化した。SNS等による発信回数は790回となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	主要観光施設の入域客数 267,000人以上	目標	()	(107,000人)	(267,000人)	(267,000人)	()
		実績		約205,000人	約173,000人	約158,000人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・昨年度同様SNSを活用した情報発信を強化した。YouTubeを活用した動画配信、インスタグラムでのフォトコンテストを行った。 ・南の駅やえせの指定管理者が変更となり、令和5年5月27日に施設がリニューアルオープンし、約10か月の営業であったため入域客数は前年度を下回っているが、月割り計算では年間約189,600人となり前年度を上回る入域客数となる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・主要道路からの誘導看板がないことや、駐車場が不足していることから、成果目標を達成することができなかった。	・誘導看板・駐車場を整備し、入域客数の拡大を図る。
今後の取り組み方針		
・各SNSのアクセス数を増やす取組みとして、影響力のある方々との共演を推進する。 (閲覧している年齢層は、18～44歳であり、ターゲットは、旅行意欲の高い、10代～30代をターゲットにして情報発信を行っている。) ・短時間に集中した誘客イベント(土日)だけでなく、中長期的に集客できるイベント(平日)の回数を増やすことで入域客数の拡大を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,582	6,582	5,265	1,317	

八重瀬町
6, 5 8 2 千円

委託料
6, 5 8 2 千円

(一社) 八重瀬町観光物産協会

(八重瀬町観光プロモーション委託業務)

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法は、平成26年度から約8年間事業に携わっていることと、関係機関等とのネットワークを構築してきた実績から随意契約を締結しており妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初の件人費を過大に計上していたため5%以上の不用額が生じたため適切な予算管理・執行が必要である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア			
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成			
事業内容	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設敷地を雨天時の屋内運動施設として、用途変更、長寿命化に向けて必要な設計調査をし、整備を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,758	17,389				
		(b)予算現額	10,450	19,833				
		(c)増減額(b-a)	▲308	2,444				
		(d)繰越額	0	0				
		A.計(b+d)	10,450	19,833				
	B.執行済額		10,450	19,833				
	うち交付金充当額		8,360	15,866				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		当初、17,389千円で実施設計を予定していたが、建築確認申請において予定していなかった追加調査が発生したため、12月補正で予算2,444千円を増額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	旧具志頭小学校体育館の屋内運動施設リニューアル機能強化整備実施設計を行う。	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	旧具志頭小学校体育館のリニューアル実施設計を行った。 令和6年度に工事を実施するために、建築確認申請や諸法令の許可等を行うことができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	旧具志頭小学校体育館のリニューアル機能強化整備実施設計完了 ・建築改修工事平面図、仕上表 ・立面図、断面図、展開図 ・天井伏せ図、建具表 ・電気設備図面、機械設備図面 等	目標	()	(調査業務の実施)	(実施設計業務)	()	()	
		実績		調査業務完了	実施設計業務完了			
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	令和6年度より改修工事を行うために、実施設計業務を完了した。 改修工事に必要な『平面図、仕上表、立面図、断面図、展開図、天井伏せ図、建具表、電気設備図面、機械設備図面等』を作成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①リニューアル工事では、屋根の腐食が酷すぎて雨漏りがあるため、屋根の葺き替え工事が必要となり、隣接する小学校運動場を使用することとなる。 ②リニューアル工事を完了し、供用開始を行ったあと駐車場が不足することが判明したため、外部に追加で駐車場を確保する必要が分かり、位置の選定を行った。 ③沖縄県のスポーツアドバイザー制度を活用して、各スポーツの詳細協議することができたが、備品の必要性や大会・競技の受入れ方法など、当初考慮していない点が多々あったため、今後の運用を含めてアドバイザーの方と引き続き協議が必要となった。	①小学校と事前に綿密な協議を行い、学校行事や運動場を使用する時間をさせて屋根の葺き替え工事を行う。 ②駐車場の位置選定が終わったので、実施設計業務を令和6年度に着手していく。 ③沖縄県のスポーツアドバイザー制度や各スポーツチームと今後も綿密に協議を重ねていく。
今後の取り組み方針		
小学校の運動場の一部を使用しながら改修工事を行うので、小学校の担当者と綿密に協議を重ね、学校運営に影響が出ないように工事を行う。 駐車場の設計を新たに行うので、屋内運動施設の供用開始に向けて速やかに実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
19,833	19,833	15,866	3,967	0

八重瀬町
19,833千円

委託料

(株)国吉設計
19,833千円

実施設計業務

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業務費は沖縄県土木建築部の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途が、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア		
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	令和4年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成		
事業内容	Jリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカーグラウンド施設において、プロサッカーチームを誘致し、練習拠点として必要な環境整備を行い、サッカーを活用したスポーツツーリズムの推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,830	2,946			
		(b)予算現額	18,830	2,946			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	18,830	2,946			
	B.執行済額		18,150	2,720			
	うち交付金充当額		14,520	2,175			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.4%	92.3%			
予算の状況の説明		スポーツ観光交流施設で各種競技で使用する備品購入について、予定どおり執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	サッカーグラウンドのプロ仕様芝生管理委託	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	具志頭サッカー場備品購入	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		実施			
達成状況説明	スポーツ観光交流施設において、トレーニングマッチ等で使用する備品を購入することで、施設環境の向上を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	来場者数:4,000人(県外観光客1,450人)	目標	()	(4,000人)	(4,000人)	()	()
		実績		12,768	432		
	進捗状況説明	施設環境が向上したことからスポーツキャンプの受入れが実現し、トレーニングマッチ等の見学を目的とした多くの観光客の増加が見込めたが、沖縄キャンプに訪れている他のチームとの調整がつかずトレーニングマッチが行われなかったため、練習見学に訪れた来場者数は県内外合わせて432名と目標よりかなり少なくなっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	トレーニングマッチ等で使用するための備品購入であったが、沖縄キャンプに訪れている他のチームとの調整がつかず、同施設でのトレーニングマッチが開催されなかった。	本事業により行われた環境整備を、キャンプ誘致に合わせて積極的にアピールすることで、トレーニングマッチ等多くの観光客の来場が見込める練習形式を取り入れてもらう。
今後の取り組み方針		
サッカー以外の各種目チームのキャンプ、トレーニングマッチ、大会を誘致するため、沖縄県、各旅行社、八重瀬町観光物産協会と連携する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		2,720	2,720	2,175	545	0

八重瀬町
2,720千円

備品購入費
1,945千円

有限会社オリンピア運動具店
1,945円

デジタルスコアボード

備品購入費
775千円

有限会社オフィスパートナー
775千円

(パイプテント用4方幕)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○デジタルスコアボード購入は指名競争入札による契約を行っており、パイプテント購入は町契約規則第18条第1項第2号に則り随意契約を行っており妥当である。 ○複数業者による見積を参考に設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○費目・使途については、完了検査の際に書類により精査及び検査を行っており、事業目的達成に必要なものに限定され適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑦		スポーツキャンプ事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立		
担当部課名	教育委員会 スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	八重瀬町の運動施設へ県の推進するスポーツコンベンション事業と連携し、サッカーチーム、野球チーム等のスポーツキャンプを誘致することで、観光客の誘客を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,304	5,906	3,959	5,006	4,687	
		(b)予算現額	11,304	4,933	1,640	5,006	4,687	
		(c)増減額(b-a)	0	▲973	▲2,319	0	0	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	11,304	4,933	1,640	5,006	4,687	
	B.執行済額		656	3,975	4,885	4,362	3,674	
	うち交付金充当額		524	3,179	3,908	3,490	2,938	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		5.8%	80.6%	297.9%	87.1%	78.4%	
予算の状況の説明		スポーツキャンプを誘致するにあたり施設管理人が不足することから、会計年度任用職員の採用を募集していたが応募が無く、報酬費・共済費・旅費(費用弁償)から不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・仮設ヤグラの設置、仮設トイレの設置 ・警備委託 ・スポーツチームの写真展示	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
		実績	実施	実施	実施	実施		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	スポーツキャンプによる活性化を図るために、各設備の設置、警備委託や写真展示を実施し、例年誘致しているチームに加えて今年度は「東京ヴェルディ」の新規キャンプが実現した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	スポーツチームのキャンプ4チーム以上の誘致	目標	()	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()	
		実績		2チーム	5チーム	4チーム		
	進捗状況説明	Jチーム「京都サンガF. C」、「ザスパ群馬」、「東京ヴェルディ」、海外野球チーム「ハンファイーグルス」の計4チームを誘致した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回、誘致したチームの他に、国内3チーム、海外2チームよりキャンプの申入れがあったが、日程の調整が付かず今後の課題となっている。	キャンプチームの定着化を実現し、事前の日程調整を行い体育施設の空き状況を早い段階で明確にすることで、積極的に新規チームの誘致を行うことができる。
今後の取り組み方針		
令和5年度にキャンプに訪れたチームの定着化が実現できた場合、東風平サッカー場の2月後半、東風平野球場の2月前半のスケジュールが確保できることから、サッカー場にはJ3所属チームやWEリーグのチームを積極的に誘致を行う。野球場へは様々なカテゴリーのチームへの誘致を検討し、可能な限り多くのチームを沖縄キャンプに訪れてもらい経済の活性化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,674</td><td>3,674</td><td>2,939</td><td>735</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,674	3,674	2,939	735	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,674	3,674	2,939	735	0										
八重瀬町 3,674千円 需用費 77千円 (株)ホームショップみなみ 26千円 きた看板 51千円 エアダスター ケーブルタイ等 展示会写真等 委託料 2,574千円 琉球警備保障株式会社 2,574千円 キャンプ時の警備 使用料及び賃借料 385千円 トップレンタル 132千円 有限会社曙開発 253千円 仮設トイレリース カメラ台足場リース 備品購入費 638千円 有限会社オリンピア運動具店 638千円 サッカー練習用 ダミー人形・ミニゴール														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入費・使用料及び賃借料は町契約規則第18条第1項に則り随意契約を行っており、委託料は指名競争入札にて支出先の選定を行っており妥当。 ○施設管理人の応募がなく採用できなかったため不用額が生じたが、キャンプ誘致にあたり施設管理人は必要のため、事業内容に見合った予算規模は妥当。 ○費目・使途については、完了検査の際に書類により精査及び検査を行っており、事業目的達成に必要なものに限定され適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2-(1)-(イ) 貧困状態にある子どもへの支援		
担当部課名	民生部 児童家庭課	事業実施 （予定）年度	令和4年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4-(1)		
事業内容	放課後児童クラブを利用する非課税世帯、ひとり親世帯に対して保育利用料を減免した放課後児童クラブへひとりにつき月額5,000円の補助を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算の 状況	(a) 当初予算額	985	1,440			
		(b) 予算現額	1,350	1,440			
		(c) 増減額 (b-a)	365	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	1,350	1,440			
	B. 執行済額		1,275	1,203			
	うち交付金充当額		1,020	962			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		94.4%	83.5%			
予算の状況の説明		新設の放課後児童クラブ2か所の開設が予定より遅れ、利用者数が見込みより減った為、不用額が発生した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	非課税世帯に対して保育料を減免している学童クラブへ補助を行う。 （一人につき月5,000円の補助）	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施	実施			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成 状況 説明	町内の放課後児童クラブ（16か所）に対して、一人あたり月額5,000円の補助を実施した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 （ 年度）
	就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合：80％以上。	目 標	（ 75% ）	（ 80% ）	（ 80% ）	（ ）	（ 80% ）
		実 績		100%	100%		
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	貧困状態にある子ども世帯へ支援をしたことで、目標達成し生活の安定に寄与することができた。引き続き事業継続の要望が保護者より多数ある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	支援が必要な世帯が、当事業の存在を知らずに、経済的負担を理由に放課後児童クラブへの入所をしていない場合がある。	学童利用者が増加していることから、新規利用者への本事業の周知活動を行い申告漏れがないよう取り組む。 各クラブとの情報共有や連携を強化し、補助金申請の書類作成や提出物について補助金の交付がスムーズになるよう体制を整える。
今後の取り組み方針		
・貧困対策支援員や相談員、支援関係者に事業の周知を行い、貧困状態にある子ども世帯が利用につながるよう、事業の周知を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,790	1,203	962	241	3,587

八重瀬町
1,203千円

→

補助金
1,203千円

→

放課後児童クラブ
16か所
1,203千円

ほか、沖縄県ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業補助金(交付対象外経費)
3,587千円

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は八重瀬町放課後児童健全育成事業補助金要綱をもとに交付されているクラブである為、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・令和5年度に学童クラブに登録されているひとり親家庭、非課税世帯の人数により積算されており、予算規模は適正であるとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者である各クラブに対する補助金は、学童保育料5,000円以内であること、保護者の減免分を補助額として負担しているので妥当だと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用・使途については保育利用料を減免した学童クラブからの実績報告をもとに補助をしたため、適正だと考える。

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	農業用機械施設整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4章-3-(7)-(7) おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化	
担当部課名	経済建設部 農林水産課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	パワーショベルを導入し、町内の作業受託組織へ貸出を行い、当組織が農家からの作業委託を受け深耕(天地返し)作業を行う。同時に、遊休地解消の作業も行うことで、耕作面積を増やし、地域の農業振興に繋げる。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和6年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a)当初予算額				9,091	24,200
		(b)予算現額				7,612	21,200
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	▲1,479	▲3,000
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		0	0	0	7,612	21,200
	B.執行済額					7,612	17,050
	うち交付金充当額					6,089	13,640
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)					100.0%	80.4%
予算の状況の説明		当初予定していた機種より排気量を落としても成果は変わらず、作業効率もほぼ変わらないことから機種を変更した分、3,000千円の減額となった。不用額については入札残となる。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況			
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	八重瀬町が農業用機械を導入し、農家へ貸し出し、深耕(天地返し)作業や遊休地解消に活用する	目標	()	()	()	(活用)	
		実績				未実施	
	農業用機械の導入 ・トラクター(33馬力)1台 ・トラクター(19馬力)2台	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
達成状況説明	油圧式パワーショベルを導入(令和6年3月)したが、年度末の導入となったため、作業活用での実績は無し。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	遊休地の解消や植え替え期圃場の深耕(天地返し)を行いさとうきびの単収増加を図る。	目標	()	()	()	(遊休地解消または 植え替えによる単収 の維持・増加)	()
		実績				未実施	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	油圧式パワーショベルを導入したが、令和5年度末での導入となったため、実績無し。 令和6年度中に深耕作業や遊休地解消を行い、サトウキビの単収増加に繋げる。実績に関しては、作業受託地のサトウキビ収量を報告し、増加したことを報告する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	遊休地の解消及び依頼されるサトウキビ畑の深耕(天地返し)作業の時期がかぶり、多少利用しづらい時期が出てくることが予想される。 導入した農業用機械に関して、繁忙期の利用が多い状況である。 遊休地解消の時期を調整して、繁忙期と時期がかぶらないように行っていく。 仕様書作成の調整に時間を要したため、入札が遅くなってしまう、導入が年度末になってしまった。	圃場面積に対し、作業効率を図れるような機械の運用を行い、作業受託者との連携及び指導を定期的に行うことで、持続的な作業を可能にすることに加え、単収増加につなげる。 周知不足の為、トラクターの稼働が少ないため今後、さらに広報活動に努めて稼働を増やしていく。 5年度に導入したパワーショベルと連携して遊休地解消にもトラクターを使い、稼働を増やして作物の単収を上げる取組が必要。
今後の取り組み方針		
- 令和6年度中で深耕作業や遊休地解消を行い、単収増加にむけて、継続して取り組む。 - 令和5年度に導入した、パワーショベルと連携しトラクター作業効率の向上を図っていく - 日頃から定期的な点検・メンテナンスを行い、機械の長寿命化を図る。 - 利用者の増加を図る為に、農家への周知を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,050	17,050	13,640	3,410	

八重瀬町
17, 050千円

→

備品購入費
17, 050千円

→

株式会社 くみき
南部営業所
17, 050千円

(油圧式パワーショベル購入)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は指名競争入札により実施しており妥当である。 ○5%以上の不用額が生じたため、予算額・事業の適切な執行管理が必要である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町地産地消フェア事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化	
担当部課名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、町内外店舗でのイベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額				2,300	2,300
		(b) 予算現額				2,300	2,300
		(c) 増減額(b-a)				0	0
		(d) 繰越額				0	0
		A. 計(b+d)				2,300	2,300
	B. 執行済額					2,052	1,724
	うち交付金充当額					1,641	1,378
	次年度繰越額					0	0
	執行率(%) (B/A)					89.2%	75.0%
予算の状況の説明		事業内容に即した適正額であったが、予定していた刺身移動販売が不漁により中止となったため、不要額が生じている。 ※令和元年度～令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未開催。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況			
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	八重瀬町地産地消フェア等の開催支援	目標	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	
		実績	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止	支援実施	支援実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	フェアを支援することで、地元産農作物をPRでき、野菜ソムリエを活用することにより、農作物の保存方法及び調理方法等を伝授し、消費拡大に寄与すると考えられる。また、地元小学生とかりゆし塾がコラボし、廃棄予定の八重瀬町産オクラを活用した新商品を開発し、そのPRを行った。その他、令和5年度に八重瀬町の具志頭ピーマンがGI認定を受けたことから、金秀全店にて具志頭ピーマンGI認定記念セールを行い、県内全域に情報発信でき、本町の農作物等のPRが図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	地産地消フェア来場者数:4100人以上	目標	()	(2,000)	(4,100)	(4,100)	()
		実績		新型コロナウイルスの影響により中止	4,450	4,447	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	町産農作物等のPRを図るため、地場産業を活用したイベント「八重瀬町地産地消フェア」を開催したところ、フェアに合計約4,447名(1日目:2,187名、2日目:2,260名)が訪れた。八重瀬町の魅力ある地場産物を効果的に発信することで、本町の農林水産業の活性化に繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○イベントを開催した金秀東風平市場では、令和4年度開催時は開店時間が9時であったため、8時30分からオープニングセレモニーを行っていたが、令和6年3月1日から開店時間が7時になったため、車の誘導灯が必要であった。	○令和6年度は開催場所を南の駅やえせにする予定である。金秀全店には農作物をPRできるルートが開拓されたため、金秀全店へのPRを継続したい。 ○今回から、ラジオCMを活用し広報を行った。ラジオを聞いてイベントに来ている人もいたので、今後はラジオCMも取り入れていきたい。
今後の取り組み方針		
○今後開催場所を変化させ、消費者の流動、消費喚起を図りたい。 ○SNSを使った情報発信を行い、町内だけでなく町外にも広く伝わるように努める。 ○地場産業の発信のため、八重瀬町観光物産協会等も共催で開催し、費用対効果の増大を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>1,724</td><td>1,724</td><td>1,378</td><td>346</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,724	1,724	1,378	346	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,724	1,724	1,378	346	0										
八重瀬町 1,724千円 → 補助金 1,724千円 → 八重瀬町地産地消フェア実行委員会 1,724千円														
資金の流れ、 点検・評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○実行委員会は補助金交付要綱に基づき構成されているため妥当であるとする。 ○開催予定の刺身販売が中止になったことから、不用額が生じたが、予算規模自体は適正だと考える。 ○補助金交付要綱に基づき負担関係は妥当であるとする。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	若い世代からの健康づくり推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ア	
担当部課名	民生部 健康保険課	事業実施 (予定)年度	令和元年度 ～ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「健康・長寿おきなわ」の復活		
事業内容	生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的に、実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用した栄養相談や食に関する啓発を行い、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	6,717	3,598	3,554	3,534	3,547
		(b)予算現額	6,717	3,598	3,554	3,534	3,547
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	6,717	3,598	3,554	3,534	3,547
	B.執行済額		6,591	3,493	3,504	3,448	3,547
	うち交付金充当額		5,272	2,794	2,802	2,758	2,837
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.1%	97.1%	98.6%	97.6%	100.0%
予算の状況の説明		計画通りに執行を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	食育SATシステムを活用した個人や地域の課題に応じた栄養教育の実施	目 標	(事業の展開)	(事業の展開)	(事業の展開)	(栄養教育の実施)	
		実 績	事業の展開	事業の展開	事業の展開	栄養教育の実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	健診結果説明会等の各保健事業、ミニデサービスや中学校での食育の授業等で食育SATを活用し、日頃の食生活における意識の向上を図った。 食育SAT体験回数:96回、食育SAT体験者数:825人						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	食育SATを体験後、アンケート調査により「食事を改善したいと思った」の割合:80%以上	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		97%	95%	97.5%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・アンケート調査による検証の結果、97.5%の方から「食事を改善したい」との回答が得られた。 ・自由記載の欄では「油が思っていた以上に多いと知ったので減らす工夫をしたい」「子供と一緒に食べたがわかりやすく説明してくれて子供も楽しめたので良かった」等、肯定的な意見が聞かれた。 ・過去に食育SATを体験した方で「チョコ・アルコールを減らした」「よく噛むようになった」「たんぱく質をとるようになった」等、食生活に変化が見られた方もいた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・約9割の方がこれまでに受けた栄養相談(指導)と比較して、食育SATシステムを活用した栄養相談の方が分かりやすかったと回答しており、個人の課題が数値として明確化される食育SATシステムを活用し、理解しやすい事業を展開したことが、目標達成の要因と考えられる。 ・男性の体験者数は年々増加しているものの、女性の約半数と少ない現状である。	既存の保健事業の他、地域の行事への介入や他部署との連携を引き続き図る必要がある。
今後の取り組み方針		
より多くの住民・年齢層(特に男性)へ食育SATシステムの活用及び食に関する啓発を行えるよう、事業をどう展開していくか検討する。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,594	3,547	2,837	710	47

八重瀬町
3,547千円

報酬
2,534千円

期末手当
527千円

共済費
441千円

通勤手当
24千円

事務費
21千円

遡及分報酬の一部
(交付対象外経費)

会計年度任用職員 1名
(管理栄養士)

消耗品費
21千円

資金 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については公募、面接を行い採用しており妥当であると考える。 ○不用額は生じておらず適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	⑥-1	八重瀬歴史文化継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-7 沖縄文化の継承・発展・普及	
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課		事業実施(予定)年度	令和4年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)	
事業内容	八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編集し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し企画展を開催する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,506	21,845			
		(b) 予算現額	17,506	21,845			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	17,506	21,845			
	B. 執行済額		14,363	16,875			
	うち交付金充当額		11,490	13,500			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		82.0%	77.2%			
予算の状況の説明		当初調査事務員を4名で計上していたが3名しか確保できなかったため、不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	【移民・出稼ぎ編】 ・会議3回 ・海外(ボリビア、ハワイ、ペルー)現地調査 ・収集した証言や資料の整理	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	一部実施			
	【言語編】 ・会議3回 ・調査	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
	企画展の開催	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
	【近代資料】 ・有識者会議(4回) ・横内文書調査 ・「沖縄時論27号」調査	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
達成状況説明	・移民出稼ぎ編は、海外移民者の移民地側(ハワイ・ペルー)の実態調査を現地で行うことができ、移民地先での生活文化や歴史文化の変遷を調査することができた。ボリビアについては、現地との調整の中で、ボリビア移民の八重瀬町出身者がボリビアから他の国ブラジル等に移っている方が多いことや、証言を得たい方が高齢で聞き取り対応ができなくなっているため外した。 ・言語編は会議を3回実施することができ、集落調査を行うことができた。 ・企画展は、3月12日から3月31日まで企画展を開催することができた。 ・近代資料調査については、有識者会議で調査先の優先順位や調査方法について検討した。明治期の沖縄県政関係資料である横内家文書から八重瀬町関連資料の調査をR4年度より継続して行った。また、本町出身の偉人謝花昇の関わりのあった沖縄倶楽部発刊の沖縄時論27号について、読み下し文及び意識の調査研究を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	企画展の来場者数	目 標	()	(100人)	(100人)	()	()
		実 績		185人	292人		
	進捗状況説明	海外調査後、現地の生活文化等に関する企画展を3月12日～3月31日まで開催し、来場者予定100人のところ292人の来場者があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	海外調査のため、移民先で聞き取りする移民者の確保や、現地移動するためのガイド・通訳の確保に時間を要した。コロナ禍が続いたことから海外調査等を企画する旅行者の確保に苦慮した。 全国で所蔵可能性のある八重瀬町関連の近代資料の収集について、有識者からの聞き取りにより調査リストを作成し、優先順位を明確にして調査にあたる必要がある。	・地域における海外移民者の関係者(親族等)からの聞き取りなどにてネットワークを広げることで、より深く移民先の情報を収集できるようにする。 ・海外から沖縄に研修等で来沖する移民関係者等に伺い、情報交換することで現地県人会等を通し、WEB会議を設けて現地とのコミュニケーションを図り、調査先での多くの移民者から聞き取りができるようにしたい。 ・予算執行状況の把握に努め、変更申請及び経費の変更の検討を行うように努める。 ・近代資料調査収集について、近代資料調査収集有識者会議を開催し、資料所蔵可能性のある施設等のリストに基づいた調査を実施し、効率的、効果的に事業を推進していく。
今後の取り組み方針		
・海外調査等も含めた調査研究の中から新たな移民者情報などが収集できれば、できる限り聞き取り調査等を行い、文化継承事業の内容を深めていきたい。 ・近代資料調査収集について、引き続き横内家文書の調査を継続しながら八重瀬町関連資料の調査を実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
		総事業費	交付対象事業費	<table><tr><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>16,875</td><td>16,875</td><td>13,500</td></tr><tr><td></td><td></td><td>3,375</td></tr><tr><td></td><td></td><td>0</td></tr></table>	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,875	16,875	13,500			3,375			0
交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費														
16,875	16,875	13,500														
		3,375														
		0														
八重瀬町 16, 875千円	報酬 7,795千円	移民・出稼ぎ・言語調査事務員 3名 謝花昇及び近代資料調査囑託員 2名 時間外手当 3名														
	職員手当 1,423千円	移民・出稼ぎ・言語調査事務員 3名														
	共済費 1, 209千円	移民・出稼ぎ・言語調査事務員 3名														
	報償費 2,864千円	資料整理協力費(国外調査・その他調査)、聞き取り調査等 編集専門部会委員謝礼(移民・出稼ぎ編3回、言語編2回) 謝花昇及び近代資料翻刻料 謝花昇及び近代資料調査ワーキング会議 謝花昇及び近代資料収集有識者会議														
	旅費 3,040千円	国外調査(ハワイ・ペルー) 3名・2名 費用弁償(移民・出稼ぎ、言語調査事務員) 3名														
	需要費 190千円	消耗品費 資料複写第(県立図書館・公文書館)														
	役務費 110千円	通信運搬費(移民・出稼ぎ編、言語編編集専門部会通知文・調査協力依頼文) 国外調査渡航手続き手数料(ハワイ・ペルー) 3名・2名 国外調査(ハワイ) 2名														
	使用料及び賃借料 121千円	携帯電話レンタル料等 有料駐車場使用料														
	備品購入費 123千円	図書購入費(ブラジル沖縄県人移民研究塾同人誌、近代史関係図書) 国外調査備品(ipad購入)														
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○会計年度任用職員は公募により選定を行っており、旅費は、事業者指名競争入札で選定しており妥当であると考え る。 ○調査事務員4人の公募に対して、3人の雇用となったた め不用額が生じているが、事業成果を達成するには適正 な予算規模と考える。 ○費目、使途については会計年度任用職員の報酬や国外 調査等の旅費等の目的に即し、必要なものであったと判断 した。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	八重瀬町無形文化財活用推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(イ) 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり		
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(3)		
事業内容	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため鑑賞公演のパッケージ化並びに既存施設の機能強化を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,835	42,800			
		(b) 予算現額	7,338	55,800			
		(c) 増減額(b-a)	▲2,497	13,000			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	7,338	55,800			
	B. 執行済額		7,337	55,769			
	うち交付金充当額		5,869	44,615			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%			
予算の状況の説明		前年度行った実施設計を基に機能強化工事を実施、若干の建築単価変動と機能強化に必要な備品費を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取り組み	目標	(5回)	(4回)	()	()	
		実績	5回	4回			
	テスト公演の実施	目標	(2回)	(4回)	()	()	
		実績	2回	4回			
	施設機能強化工事	目標	(-)	(整備完了)	()	()	
実績		-	整備完了				
達成状況説明	ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取組として、地域の民俗芸能団体、農業従事者、琉球伝統料理コーディネーター等と計4回協議を行いテスト公演(文化観光体験モニターツアー)を5回実施し、アンケート結果を基にニーズの分析、体験メニューの調整が図れた。 機能強化計画改修工事を行い、無形文化財を活用できる施設・設備の拡充ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)
	各種団体との協議	目標	(協議:4回)	(協議実施)	()	()	()
		実績	協議:4回	実施			
	ワークショップ及び公演内容の組み立て	目標	(内容:4演目)	(ワークショップ・講演内容組立)	()	()	()
		実績	内容:5演目	実施			
	テスト公演による観覧者アンケートの実施	目標	(40件)	(アンケート実施)	()	()	()
		実績	37件	実施			
	施設機能強化工事の完了	目標	(計画策定)	(機能強化)	()	()	()
		実績	策定完了	工事完了			
	進捗状況説明	町内の獅子舞や、棒術、琉球舞踊の保存団体や平和学習の講師と、町の文化資源の活用法について4回協議し、4種のワークショップや公演の内容を組み立てた。 テスト公演による観覧者アンケートについては、文化観光体験ツアーのメニュー開発を目的に独自性や評価点、改善点、その他お気づきの点として細やかな回答を87件いただき、ニーズや実施方法についてブラッシュアップを行った。 施設機能強化について、文化観光体験ツアーを実施するにあたり不足している機能を強化するための施設改修を行った。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	テスト公演（文化観光体験モニターツアー）を親子、外国人、及び大学生を対象にそれぞれ実施にした。アンケート結果によると、地域の伝統芸能や琉球料理のワークショップについては「独自性を感じた」や「また体験したい」などの高評価を得たが、外国人の参加者から体験ガイドの説明等を翻訳機で実施したため、説明が分かりづらくコミュニケーションも取りづらいつとの課題が上がった。	アンケート結果より、翻訳機を使用した体験ガイドとのコミュニケーションでは不十分であったことが発覚した。通訳または外国語で体験ガイドができる人材を確保するなどにより、自走化に向けて満足度の向上を図る。また、高評価を得た地域の伝統芸能についても、実演体験などの鑑賞以外のメニュー開発を探り、満足度の向上を目指す。
今後の取り組み方針		
外国人に対応する通訳の確保や、外国語ができるガイド養成の実施を検討する。高評価を得た地域の伝統芸能についても、実演体験メニューを追加し実際に体験することで、更なる満足度の向上を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55,769</td><td>55,769</td><td>44,615</td><td>11,154</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	55,769	55,769	44,615	11,154	0													
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																							
55,769	55,769	44,615	11,154	0																							
<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">八重瀬町 54,790千円</td><td rowspan="2">委託料 2,777千円</td><td>八重瀬町観光物産協会 1,798千円</td><td colspan="2">〔文化観光体験プラン創出委託業務〕</td></tr> <tr> <td>(株)盛設計 979千円</td><td colspan="2">〔具志頭分館機能強化設計監理委託業務〕</td></tr> <tr> <td rowspan="2">工事請負費 49,995千円</td><td>有限会社 光和エンジニアリング 49,995千円</td><td colspan="2">〔具志頭分館機能強化工事〕</td></tr> <tr> <td>有限会社 大地建設ほか 2,997千円</td><td colspan="2">〔具志頭分館機能強化備品購入〕</td></tr> <tr> <td>備品購入費 2,997千円</td><td></td><td colspan="2"></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr> </table>					八重瀬町 54,790千円	委託料 2,777千円	八重瀬町観光物産協会 1,798千円	〔文化観光体験プラン創出委託業務〕		(株)盛設計 979千円	〔具志頭分館機能強化設計監理委託業務〕		工事請負費 49,995千円	有限会社 光和エンジニアリング 49,995千円	〔具志頭分館機能強化工事〕		有限会社 大地建設ほか 2,997千円	〔具志頭分館機能強化備品購入〕		備品購入費 2,997千円							
八重瀬町 54,790千円	委託料 2,777千円	八重瀬町観光物産協会 1,798千円	〔文化観光体験プラン創出委託業務〕																								
		(株)盛設計 979千円	〔具志頭分館機能強化設計監理委託業務〕																								
	工事請負費 49,995千円	有限会社 光和エンジニアリング 49,995千円	〔具志頭分館機能強化工事〕																								
		有限会社 大地建設ほか 2,997千円	〔具志頭分館機能強化備品購入〕																								
	備品購入費 2,997千円																										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明																								
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託費については、専門的知識を有する事業者を選定した。備品購入費については、八重瀬町契約規則等に基づき選定した。工事請負費については指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。																								
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。																								
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。																								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																									

市町村名	八重瀬町							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-③	八重瀬町伝承話資料保存継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章―1―(4)―ア		
担当部課名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ―3―2			
事業内容	八重瀬町に伝わるしまくとぅばで語られた伝承話の保存、継承を図るため、伝承話資料センターに保管されている本町の伝承話のアナログ音源資料及び文字資料(話者情報等)を調査、収集及び整理し、その整理した資料を基に動画コンテンツの作成、資料館HPへの掲載をし、多くの人がこの資料を活用できるよう図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R9年度	R10年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,032					
		(b) 予算現額	2,032					
		(c) 増減額(b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	2,032					
	B. 執行済額		2,032					
	うち交付金充当額		1,625					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		予算執行に関しては、予定どおり執行することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伝承話資料センターに保存されているアナログ音源のデジタル化、一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けを600話分行う。	目 標	(600話)	()	()	()	()	
		実 績	600話					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成 状 況 説 明	当初の予定通り伝承話資料センターに保存されているアナログ音源のデジタル化、一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けを600話分完了した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	伝承話600話のデジタル化	目 標	()	(600話)	()	()	()	
		実 績		600話				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	伝承話資料センターに保存されているアナログ音源の600話分を令和5年度においてデジタル化することができ、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	整理した資料をHPに掲載するまでの日程が厳しい状態であり、掲載後の周知も満足にできなかった。また、八重瀬町にこのような伝承話の資料があるということ自体がほぼ知られていない状況であった。	HP掲載までの日程を余裕をもって組み、掲載後もHPや広報等にて伝承話に関する資料の情報提供及び周知徹底を図る。
今後の取り組み方針		
・令和7年度で話数約2200話分全てのデジタル化及び一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けの作業を完了させ、資料館HPへ掲載し伝承話資料の活用を図る。 ・併せて令和6年度より令和5年度に整理・収集した音源資料及び文字資料(話者情報等)の使用承諾を得るため、話者本人及びご家族へ承諾書の署名を依頼する。 ・令和8年度～令和11年度には令和7年度までに整理・収集した資料を元に動画コンテンツの製作を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,032</td><td>2,032</td><td>1,625</td><td>407</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,032	2,032	1,625	407	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,032	2,032	1,625	407	0										
八重瀬町 2,032千円 委託料 2,032千円 特定非営利活動法人 沖縄伝承話資料センター 2,032千円 〔音源資料デジタル化委託〕														
資金使途の流れ、点検・評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は本事業の目的達成のために必要なアナログ音源資料等を唯一調査・作成し所有しており、実績・知識・人材等も揃っていることから選定方法は妥当であったと考える。 ・不用額が生じておらず、適正な規模であった。 ・業務完了後に検査を実施しており、目的に即し必要なのであると判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	八重瀬町高齢者等お出かけサポート事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(5)-(ア) 高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり		
担当部課名	総務部企画財政課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4-(2)		
事業内容	交通弱者の通院や買い物等の外出を支援するため、地域のボランティアが運転手となり、町が用意した車両を用いた無償の送迎サービス事業を行い、地域の移動手段の確保だけでなく、町民同士のつながりや地域の活性化など高齢者福祉の充実を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,681	2,229			
		(b)予算現額	2,096	1,397			
		(c)増減額(b-a)	▲585	▲832			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	2,096	1,397			
	B.執行済額		1,980	1,221			
	うち交付金充当額		1,584	976			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.5%	87.4%			
予算の状況の説明		予算減832千円については、入札残による事業費の減額である。 不要額176千円については、燃料費及び安全運転講習受講者数の見込数量の減によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	①地域の現状やニーズの把握	目 標	実施	実施			
		実 績	策定	実施			
	②運行計画の策定	目 標	策定				
		実 績	策定				
	③安全運転講習の実施	目 標	実施	実施			
		実 績	実施	実施			
	④実証運行の実施	目 標	実施(9か月)	実施(12か月)			
		実 績	実施(7か月)	実施(12か月)			
⑤利用者に対するアンケート調査の実施	目 標	実施	実施				
	実 績	実施	実施				
達成 状 況 説 明	①地域の現状やニーズの把握について ・事業実施に向けて自治会、関係機関に対する周知・事業説明・意見交換を行った。 ②運行計画の策定について ・R4年度策定済 ③安全運転講習の実施について ・ボランティア運転手向けの安全運転講習を8回実施し15名が受講した。 ④実証運行の実施 ・4月から3月まで実施した。(運行実績:82回 利用者:324名) ⑤利用者に対する利便性調査について ・参加自治会との会議でのアンケート調査、各自治会を訪問し利用者への聞き取り調査を計5回行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	①参加自治会数 【参考】R4年度実績:5自治会	目 標			7自治会		
		実 績			5自治会		
	②月平均利用者数 【参考】R4年度実績:23.4人(7か月) (利用者総数:164人)	目 標		917人	月平均 25人		
		実 績		164人	月平均 27人		
	③稼働率:40.0%以上 【参考】R4年度実績:月平均稼働率:33.3% (運行可能日÷運行回数=稼働率)	目 標			40%		
実 績				34.5%			

進捗状況説明	①参加自治会数 ・昨年度の実績(5自治会)を上回るよう目標を設定したが、新たな自治会の加入には至らず目標に到達しなかった。
	②月平均利用者数 ・昨年度の月平均利用者数を上回るよう目標を設定し達成した
稼働率	③稼働率 ・昨年度の実績を参考に目標を設定したが、自治会数が昨年同様であったため、稼働数が伸び悩み目標に到達しなかった。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(参加自治会の確保に向けて) ・地域によって関心度にばらつきがあり、実施に向けた説明や検討会などの支援に時間を要し、参加自治会数を増やすことができなかった。 (利用者の確保に向けて) ・広報誌だけでなく、各地域に出向いた説明会や回覧板等で事業の周知を行ったことが目標達成の要因であるとする。 (稼働率) ・ボランティア運転手の都合により、予定していた定期運行ができず稼働数が伸び悩む地域があった。急な予定変更でも、定期運行が可能となるよう、更なる代替運転手の確保が必要である。	(参加自治会の確保に向けて) ・担当課だけでなく福祉部局と連携し、すでに実施している地域への視察や検討会に関する支援など、立ち上げに必要な支援を丁寧に行う。 (利用者の確保に向けて) ・引き続き、各地域に直接出向き説明会を開催するなどして周知活動の強化を図る。 (稼働率) ・稼働率を上げるため、ボランティア運転手が不足している複数の自治会が課題を共有し、連携して運行できるような事業スキームを検討する。

今後の取り組み方針	
本実証事業は、自治会を中心とした取り組みであり、ボランティア運転手の担い手の方々も、自治会活動に積極的に参加する方々であることを踏まえて、今後も3者連携の体制づくりを継続していく必要がある。 そのためには、地域における住民の移動支援ニーズとサービスのマッチングを促進するとともに、単独ではサービス創出が困難な地域に対しては、伴走型の支援、利用者もボランティア運転手も利用しやすいような事業スキームを構築する必要がある。	

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
八重瀬 1,221千円	燃料費 45千円	ヤマト石油株式会社 45千円	〔 実証運行車両の燃料費 〕											
	役務費 (手数料&保険料) 40千円	ヤマト石油株式会社 8千円	〔 車両洗車手数料 〕											
		全国社会福祉協議会 32千円	〔 送迎サービス補償加入費 〕											
	使用料 1,089千円	株式会社HariTerrace ライムレンタカー 1, 0 8 9 千円	〔 実証運行専用車両賃貸借業務 〕											
	安全運転講習負担金 47千円	ドライビングスクール沖縄 47千円	〔 ボランティアドライバー対象出張型の安全運転講習業務 〕											
			<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,221</td><td>1,221</td><td>976</td><td>245</td><td></td></tr></table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,221	1,221	976	245		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,221	1,221	976	245											
資金の使途	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
○	支出先の選定方法は妥当か。			・賃貸借契約に関しては指名競争入札により選定して										

点検・評価	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	おり、妥当な選定であったと考える。 ・事業費の5%以上の不要額が生じているため、予算額の見直し・適切な執行管理が必要である。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	